

令和3～5年度 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」

長江中学校区 プレゼンテーション資料

<研究仮説>

児童生徒主導で、児童生徒の気付きから課題を設定し、他者とかかわり、調整しながら学びを深めていく、探究的な学びを展開すれば、児童生徒が、自ら課題を発見し、他者とかかわりながら課題を解決しようとする資質・能力を育成することができるであろう。

<研究主題>

「答えのない問い」に果敢に挑戦し、他者と協働して
自分たちなりの価値ある答えを見出す探究的な学習の創造

<研究内容>

- PBLの視点を入れた単元開発
- 各単元における評価基準の整理、精選
- 9年間を見据えた
生活科・総合的な学習の時間の
カリキュラムの整理・作成

○ PBLの視点を意識した単元開発

□ 「答え（ひとつの解）のない問い」を扱う学習



レールの無い 予定調和ではない 協働性
折り合いを付けながら

□ 実生活・実社会の課題を解決する学習



児童生徒にとって自分事 現実的 主体的

□ 社会へ還元する学習



学校外の他者とのかかわり 達成感
自己有用感

○ PBLの視点を意識した単元開発

単元開発のポイント

- ① 児童生徒が自分事として考えることができる
テーマの設定
- ② 児童生徒と共有、調整していく単元計画の作成
- ③ 多様な視点、新しい課題に気付かせるショック
(新たな「えっ!?!なぜ?」)の場面の設定
- ④ 多様な視点、考え方(実生活・実社会)に
触れさせるための地域人材の活用

土堂小学校 第3学年 「思いや願いを受け継ぐ 尾道の祭り」

①児童が自分事として考えることができるテーマの設定

尾道には
どんな祭が
ある？

ベッチャー祭り！

あかり祭り！

みなと祭り！



でも、知らないこ
とも多いな・・・

教えてくれる人は
いるかな？



詳しい人に
聞いてみよう！



土堂小学校 第3学年 「思いや願いを受け継ぐ 尾道の祭り」

③多様な視点、新しい課題に気付かせるショック（新たな「えっ!?なぜ?」）の場面の設定

④多様な視点、考え方（実生活・実社会）に触れさせるための地域人材の活用

ゲストティーチャー 林さんのお話

お祭りの
始まりは…

ベタやショーキは…

実は・・・



受け継ぐ人がいなくなっている!
ベッチャー祭はなくなる!?

土堂小学校 第3学年 「思いや願いを受け継ぐ 尾道の祭り」

②児童と共有、調整していく単元計画の作成

3年生
うけつがれる祭り
活動計画

目てき

思い
祭りを調べた皆さんの
ねがい人へつたえよう。 え願

- ① 尾道のいろいろな祭りを知る。
・あかり祭り ・みなと祭り ・水祭り
・七夕祭り ・およし花火祭り
・ベッチャー祭り ・ええじゃん
- ② 祭りにくわしい人の話を聞く。
・林 けいじ先生の話を聞く。
・心にのこったことをまとめる。
- ③ 祭りを受けつぐ人が少なくなっていることを知る。
・ベッチャー祭りが続いていくように
どうしたらいい?

1) ベッチャー・もり上げ作せん
お面を作る。
商店がいをわり歩こう。
動き(足さく)はわり歩こう。
ひりくりされないよう自こしうがいしよう。

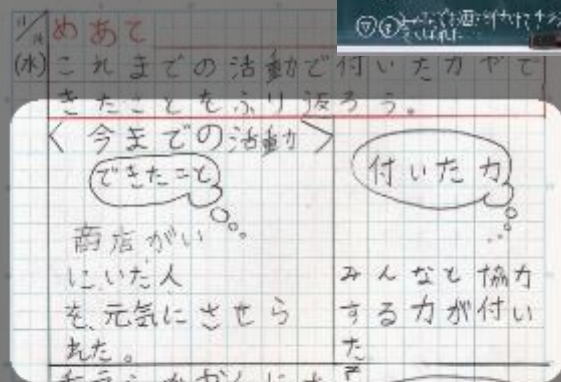
2) チラシを作ろう。
チラシにのせる内ようを考えよう。
ベッチャー・シマキのゆらい。
なぜ 祭りをするのか。
いつから祭りが始まったのか。
しし・ささらぼう・いわいぼうのせつ明。

3) 商店がいを練り歩こう。
商店がいを元気つけた。(活気つけた。)
いろいろな人にベッチャー祭りのことを知ってもらえた。
チラシをたくさんの人に配れた。
ベッチャー祭りがつづくようにと思いがち。

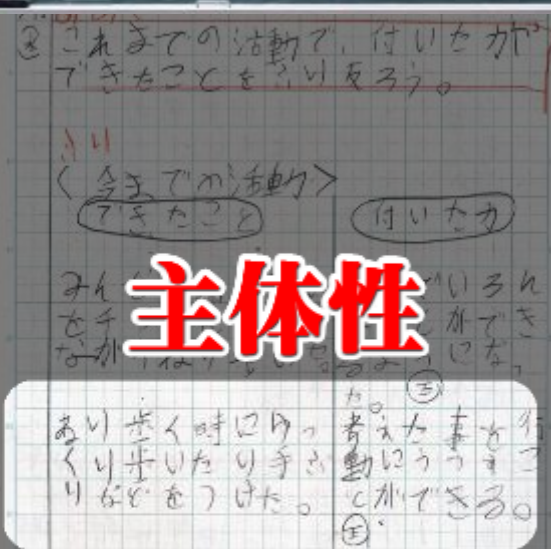
4) 公みん館長さんからのいらい
※ 地いさの人をえ願・元気にするために...



土堂小学校 第3学年 「思いや願いを受け継ぐ 尾道の祭り」



協働性



主体性

長江小学校 第6学年

「みつめよう つなげよう 未来へ続く ぼくたちわたしたちの尾道」

①児童が自分事として考えることができるテーマの設定



それぞれの興味・関心
から出てきたテーマ

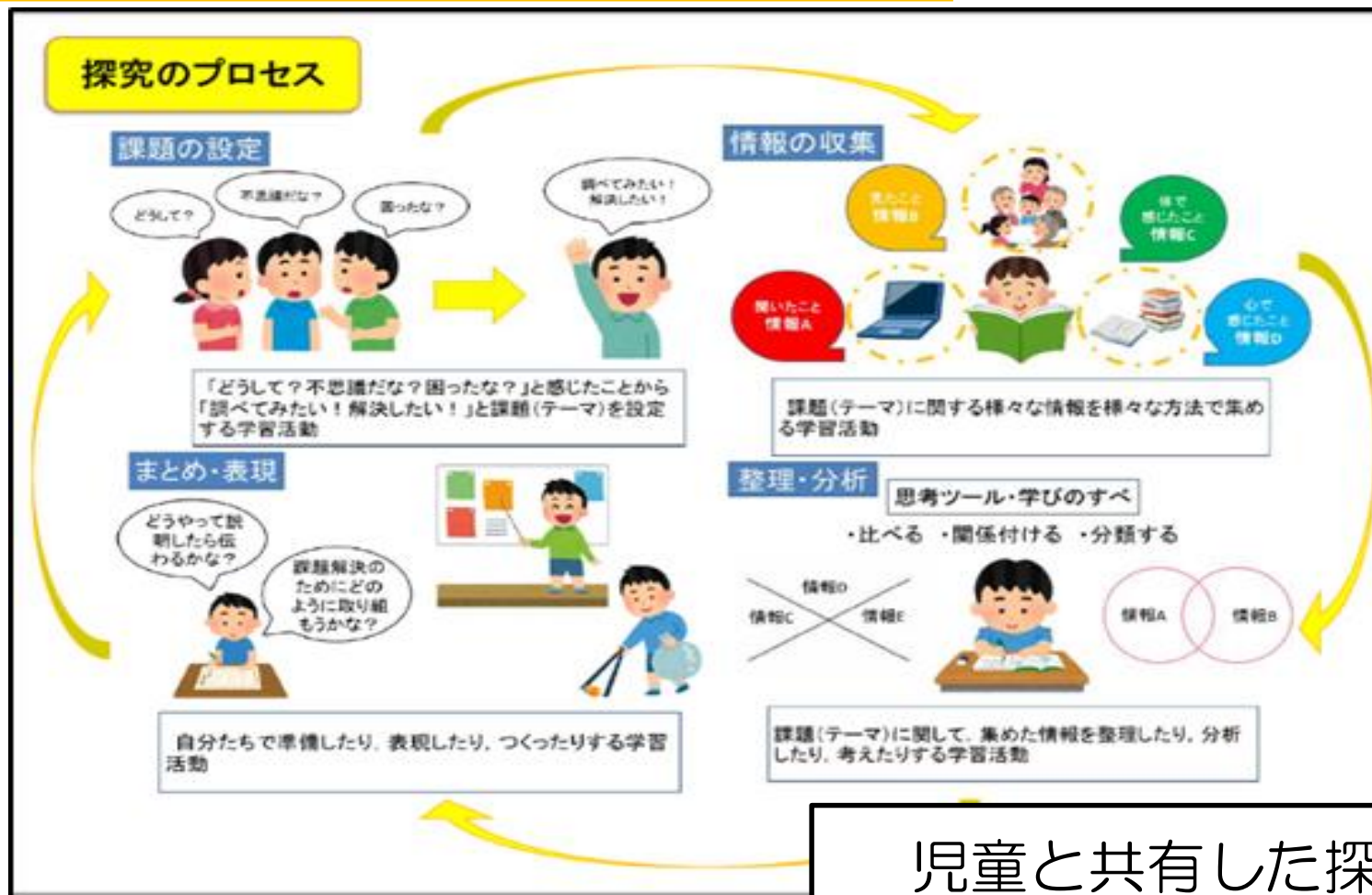
6年生から出てきた意見

- ・もっと寺社について知る。
- ・昔の長江についてくわしく知る。
- ・尾道のことをさらに知って、本を出版する。
- ・長江だけでなく広い範囲の伝統や特色を調べる。
- ・尾道の島に行って、どんなところが調べる。
- ・尾道の有名な店のこと
- ・他の県の魅力や有名なこと
- ・昔の人々の暮らし方
- ・尾道の歴史
- ・尾道の政治
- ・なぜ尾道には猫が多いのか。
- ・尾道について調べる。(都会に出て行きたい人の割合、県道や国道の数、自販機の数、島の数、尾道の高齢者と若者の割合)
- ・尾道市役所の働きについて
- ・尾道城はなんなのか。
- ・尾道ラーメンの食べ比べ。尾道のラーメン作りを調べる。
- ・方言について
- ・尾道のイメージキャラクターを作る。
- ・尾道のマークを作る。
- ・長江通りに標識を作る。
- ・遊具、アスレチックを作る。
- ・尾道の工場について
- ・野良犬、野良猫の保護。里親さがし
- ・今までした活動をもう一度する。
- ・米を育てる。
- ・能、しの笛
- ・山の中などに入って、虫や植物について調べたり遊んだりする。
- ・石について調べる。
- ・去年の6年生がやっていたような「尾道クリーン大作戦」をする。
- ・緑のカーテン(グリーンカーテン)を作る。
- ・花を植える。育てる。木を植える。野菜、果物づくり
- ・電気のない生活について
- ・他校と交流して、たくさんの人と交流を深める。
- ・違う気候の学校ではどのような活動や生活をしているのか調べる。
- ・無人島で生活をする。
- ・尾道にサッカー場を作る。
- ・長江小の秘密基地を作る。
- ・シュート率、シュートの強さを上げる方法
- ・野球の歴史
- ・車の作り方
- ・動物を育てる。
- ・ゲームを作る。
- ・けん玉を作る。
- ・水鉄砲を作る。
- ・昔遊び
- ・手作り花火
- ・日本庭園を造る。
- ・スーパーに弟子入り
- ・FX(投資)について調べる。
- ・犬のブリーダー
- ・洋菓子作り etc

長江小学校 第6学年

「みつめよう つなげよう 未来へ続く ぼくたちわたしたちの尾道」

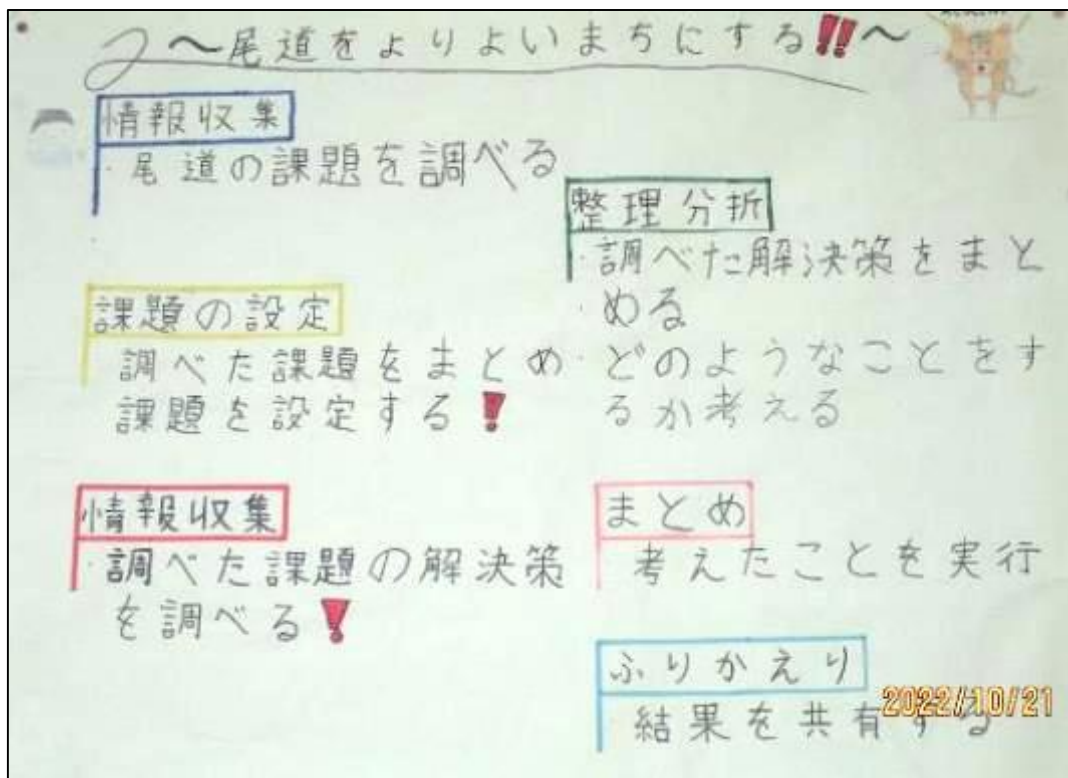
②児童と共有、調整していく単元計画の作成



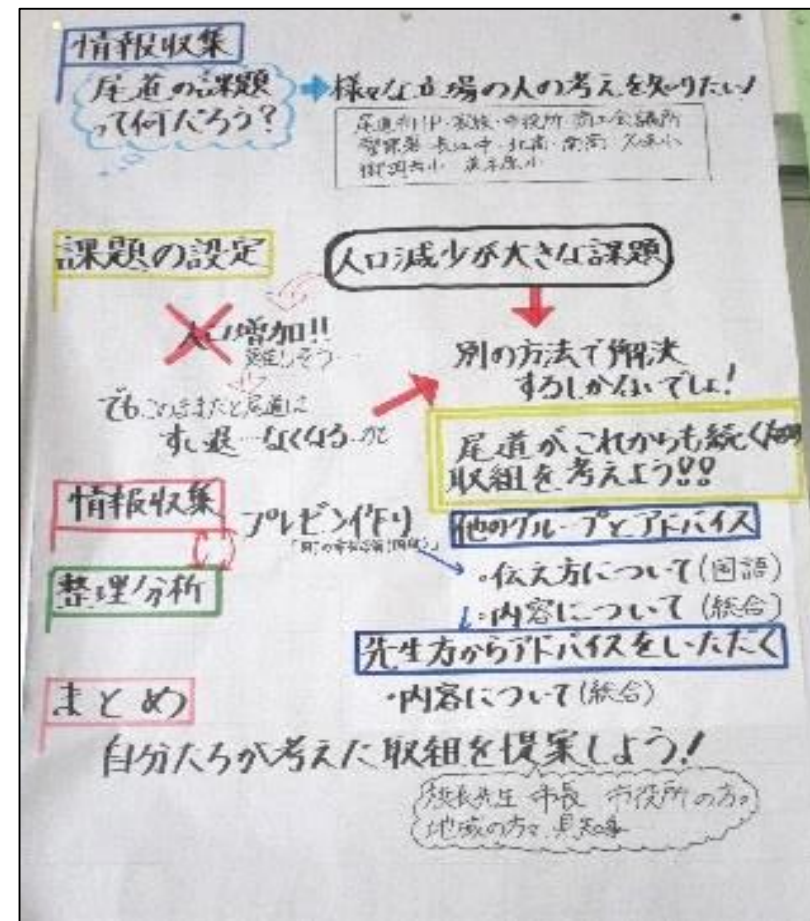
長江小学校 第6学年

「みつめよう つなげよう 未来へ続く ぼくたちわたしたちの尾道」

②児童と共有、調整していく単元計画の作成



単元導入時に児童が考えた計画

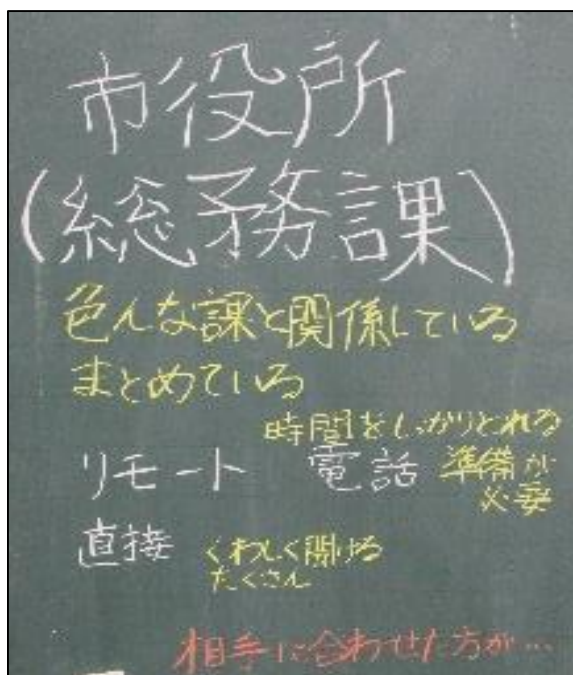


単元途中にブラッシュアップされた計画

長江小学校 第6学年

「みつめよう つなげよう 未来へ続く ぼくたちわたしたちの尾道」

③多様な視点、新しい課題に気付かせるショック（新たな「えっ!?なぜ?」）の場面の設定



えっ!?なぜ?
自分たちの考えと違ったな。
そんな考え方もあるんだ。

様々な立場の方が考えている尾道の課題

長江小学校 第6学年

「みつめよう つなげよう 未来へ続く ぼくたちわたしたちの尾道」

④多様な視点、考え方（実生活・実社会）に触れさせるための地域人材の活用



地域の先生方への
プレゼン発表会



尾道市役所の方との
意見交換会

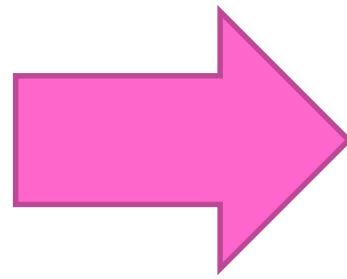
長江中学校 第2学年

「自分の生き方を考えよう～修学旅行先での様々な出会いから社会を知り、
課題解決に向けて一歩を踏み出そう～」

①生徒が自分事として考えることができるテーマの設定



みんなの意見が
より含まれる



より他の目的と
つながりがある

話し合いによって
絞られていった学級の意見

第2学年 総合的な学習の時間
探究テーマ：

- I 「働くとは」～企業が生み出す価値を探究し、自分の生き方を考えよう～
- II 「他地域から学ぶ」～人との関わりから、自分の生き方を考えよう～

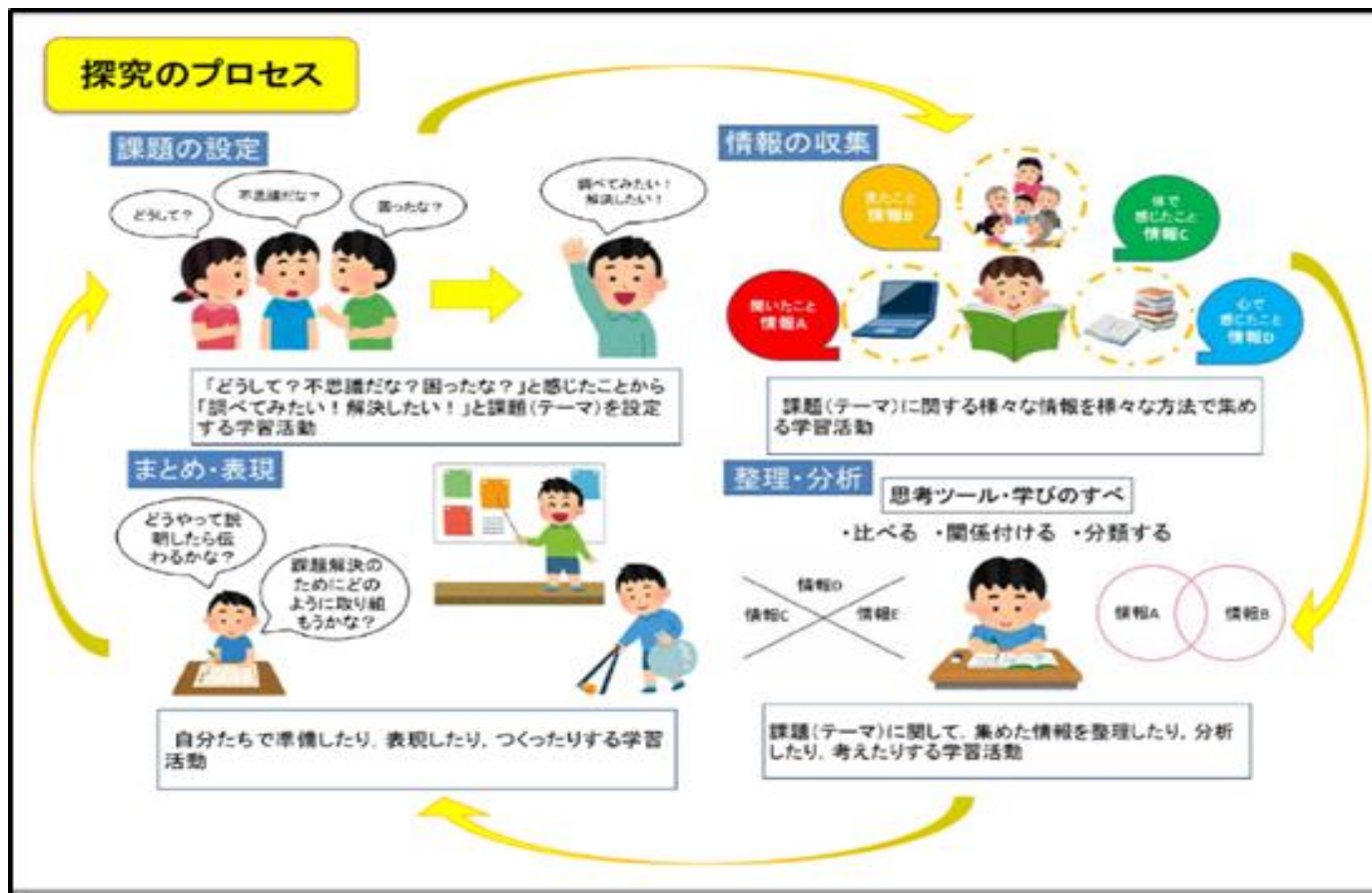
→探究課題

地域、社会と自分のかかわりを考え、地域の歴史や文化を多様な視点で見て、見識を広げる。

長江中学校 第2学年

「自分の生き方を考えよう～修学旅行先での様々な出会いから社会を知り、課題解決に向けて一歩を踏み出そう～」

②生徒と共有、調整していく単元計画の作成

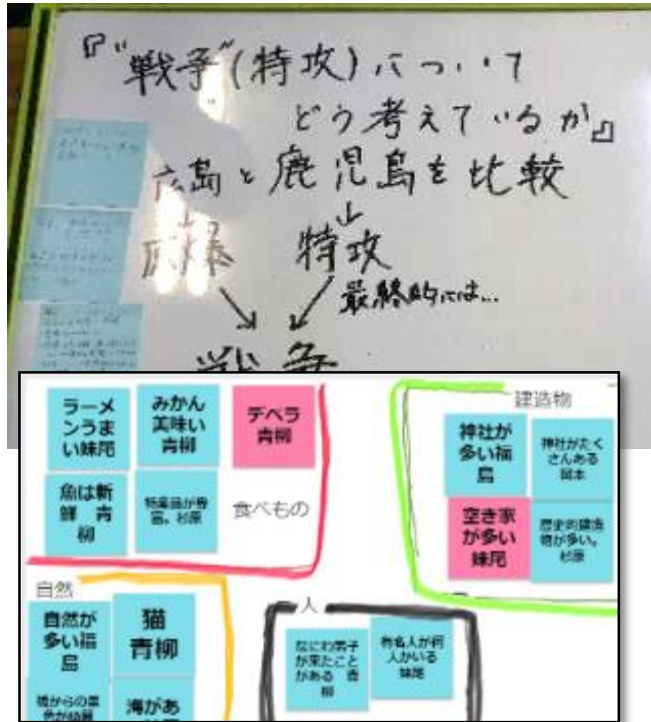


生徒と共有した探究のプロセス

長江中学校 第2学年

「自分の生き方を考えよう～修学旅行先での様々な出会いから社会を知り、課題解決に向けて一歩を踏み出そう～」

③多様な視点、新しい課題に気付かせるショック（新たな「えっ!?なぜ?」）の場面の設定



どんなことを聞けば
見識が広がるか



中学校区の先生方に
アドバイスをいただく



あれ？ 完璧だと思ったけど、
そんな視点もあったのか。
まだ情報が足りないな・・・。

長江中学校 第2学年

「自分の生き方を考えよう～修学旅行先での様々な出会いから社会を知り、
課題解決に向けて一歩を踏み出そう～」

④多様な視点、考え方（実生活・実社会）に触れさせるための地域人材の活用



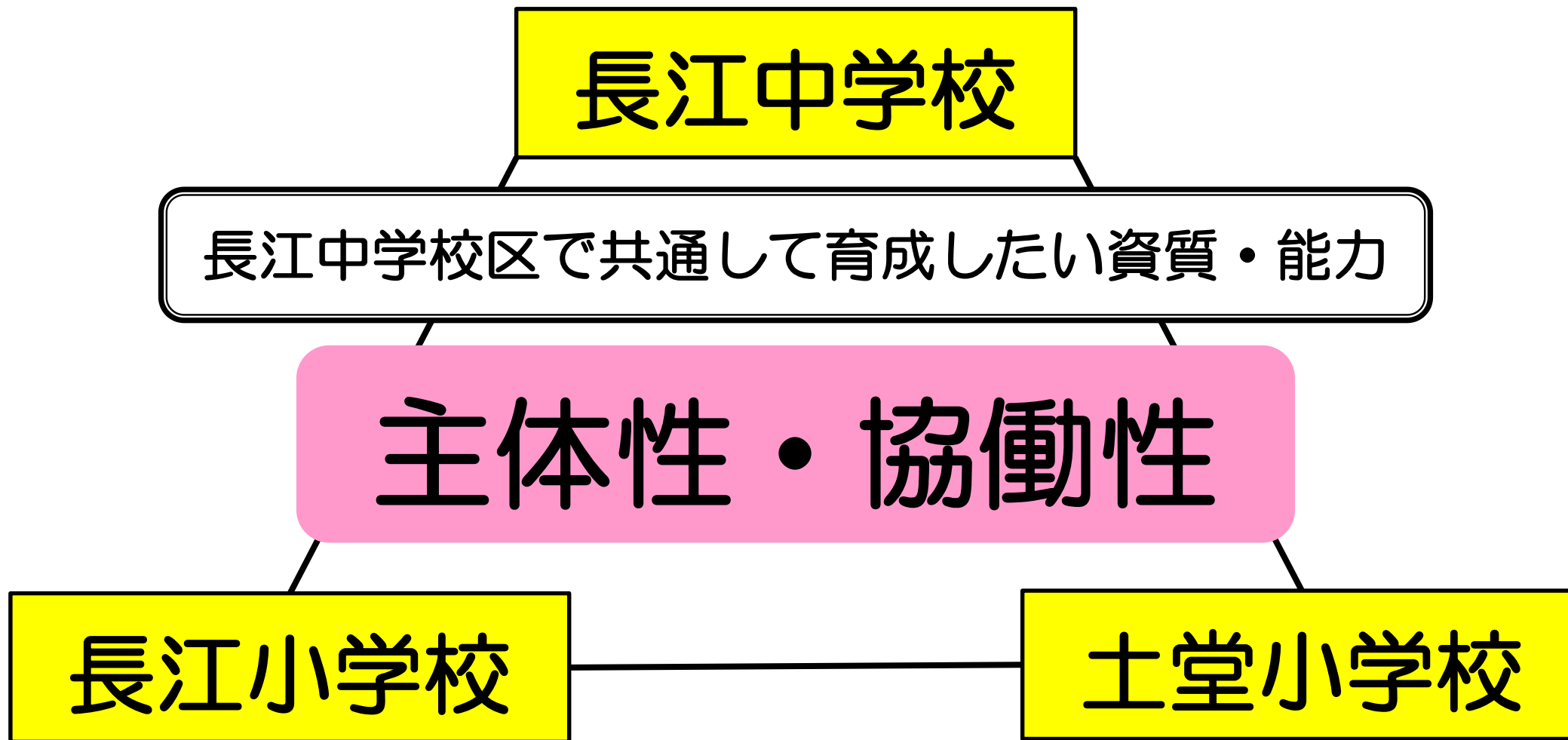
鹿児島島の地元の方に
実際に質問をなげかける

- 各単元における評価基準の整理、精選

9年間のゴール、中学校3年生で育成を目指す姿

「答えのない問い（答えが1つではない問い）に対して、一人一人の生徒が、複数の視点から解を導き出し、それを交流する。そのとき、他者の解とすりあわせながら、そのとき考えられる最適な解を導き出せる。」

- 各単元における評価基準の整理、精選



- 各單元における評価基準の整理、精選

長江小学校

長江中学校

土堂小学校

主体性

協働性

主体性

協働性

主体性

協働性

長江中学校区で考える
主体性・協働性

○ 各單元における評価基準の整理、精選

教職員で共有した主体性・協働性の発揮された姿

主体性	協働性
<p>自ら学ぼうと・求めようと・解決しようとし、自分なりの（その時の）最適解をもっている。</p> <p>自ら課題を見付けたり、解決方法を粘り強く考えたりしている。</p> <p>自分で目標・課題を設定し、それに対して方略を考え出せている。</p>	<p>協働的な活動を通して、求められているゴールに対して最適解を導き出せている。</p> <p>友達の意見を受け止めながら、見付けた課題の様々な解決方法を考えている。</p> <p>他者の行動をよく観察し、まねるべき点を取り出してまねている。</p>

○ 各單元における評価基準の整理、精選

実際に児童生徒と共に作成、修正したルーブリック

資質・能力		評価	
		B	A
学びに向かう力, 人間性等	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 長江地域の高齢者とのかかわりを広げたり深めたりするという目的に向けて、自分から進んで取り組み、友達と協力しながら自分たちの納得解を見出そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長江地域の高齢者とのかかわりを広げたり深めたりするという目的に向けて、自分の考えを繰り返し更新したり、他者の意見や思いをすり合わせたりしながら、納得解を見出そうとしている。
	協働性		

○ 各單元における評価基準の整理、精選

わたしは今日、主たいせい。きょうと
うせいの人です。なぜならわからな
たら友だちに聞いてみて、そこから
みんなで考えられたからです。中山さ
んの意見を聞いて、それをもっとくわ
しくすることができたからよかったです。

自分はこの学習を通して、みんなを出
し合えば色々な意見が出て、考えが広が
るなど思いました。そのおかげで、自分
の言いたいことを簡潔に正確に伝えるか
がいったと思います。
これからの学習では、意見をまとめる
・しぼるが主にな。てくると思うので、
もっと新しい力をつけていきたいです。

交流会の
ふりかえり
私はみんなの行動も良かったし、やってよかったと思いました。
理由は、意外と内くの方に来て下さって、イスや名札などいろいろ
やることが増えたと思うけど、みんな冷静に行動できていたから
です。ここで協働性も試行錯誤もかかったと思います。
また、地域の方も自然と笑顔があたり、「ありがとう」「楽しかった」
という声も景品をあかるときに多く聞きました。

できたこと	付いた力
①太鼓やイスの移動力を、ハ ーサルのときより速くできた。	①何事もはやく行動力する 力②
②予定外の人数だったけどあ せらずに、イスを要に用意す ることができた。	②予定外のことがあっても、 すぐに対応する力③④
③司会で、ゆっくりいねいに、話 し交流会を進行すること ができた。	③全体をしつにまとめ、物事 を進める力⑤⑥

主体性・協働性の高まりを自覚している
振り返り

自己の成長を自覚している振り返り

○ 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間の
カリキュラムの整理・作成

令和4年度 第6学年 年間指導計画（カリキュラムマップ）

育成を目指す 資質・ 能力	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
	①愛	②課題発見・解決力	③思考力・表現力	思考ツール	④自己肯定感	⑤協働性	⑥主体性
	地域の人や文化との「かかわり」を通して、愛着をもち、学んだことを地域へ返そうとする心	身の回りの生活から、課題を見付け、「学びのすべ」を活用しながら解決する力	多様な考え方を「比較」したり「分類」したりして、共通点や相違点を見出し、自分の考えを深める力 相手意識をもち、目的に応じて、自分の考えを効果的に表現する力	思考の可視化 情報の整理、課題の解決に向けた考察	自己の実察に目を向けて「振り返り」、自分や友達の成長やよさを自覚しようとする心	相手と心を通わせ、共に「かかわり」ながら目標や課題の達成を目指す心とする態度	自分の意志や判断で、自ら学ぼうとする態度
3月			聞いてほしいこの思い【国語科】 自分の思いが伝わるように話の構成を考え、聞き手の興味・関心に応じて話す力	未来へ 続く みづめ よう た ち な げ た よ う	自分の振り返り【学習活動】 努力の成果や過程について振り返り、評価する力		のぼるぞんの夢【道徳】 気高く生きていこうとする心情 もうすぐ小学生【学習活動】 将来への見通しと自己実現を図るために必要な態度と行動のあり方 自然とちるに生きる【理科】 身近な環境問題について環境をよりよくするための主体的に考えようとする態度 おはなは計画を立てよう【学習活動】 課題に気付き、よりよい方法を意思決定、実行する力
2月	自分のできること【道徳】 進んで社会や地域のために役に立とうとする態度	自分の思いをしっかりと伝える【国語科】 複数の資料を読み、必要な情報を関係付けて目的に応じて活用する力	自分の考えをまとめる力 人物の生き方や考え方に このほたらさ【理科】 使用する思考ツール 調べる思考ツール				

横の関連性（各教科の関連性）を意識するための「カリキュラムマップ」

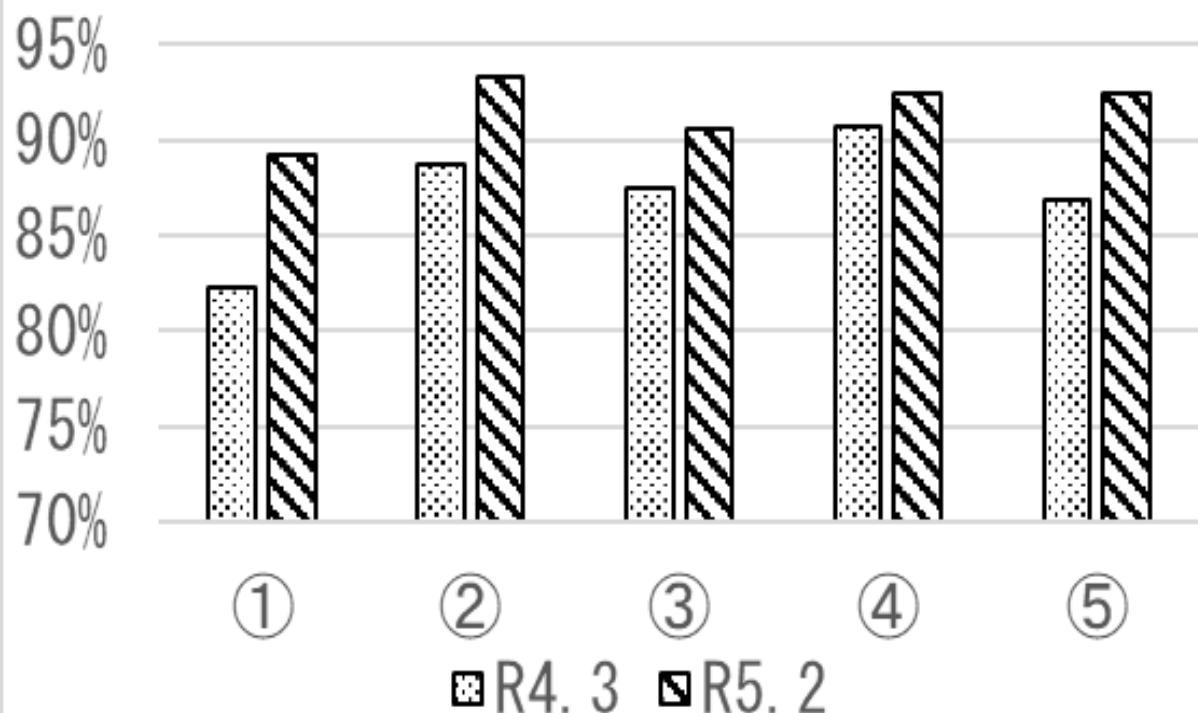
○ 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間の
カリキュラムの整理・作成



協働して研究を進めるための
合同研修

研究授業の参観

児童・生徒アンケート



①話し合いに参加するときには自分の考えをもつ
ことができます。（主体性）

R4年3月 82%

R5年2月 89%

②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から
取り組んでいます。（主体性）

R4年3月 89%

R5年2月 93%

③話し合いのときには友達の考えを受け止めて
自分の考えをしっかり伝えています。（協働性）

R4年3月 87%

R5年2月 91%

④かかわりを通して、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができます。（協働性）

R4年3月 91%

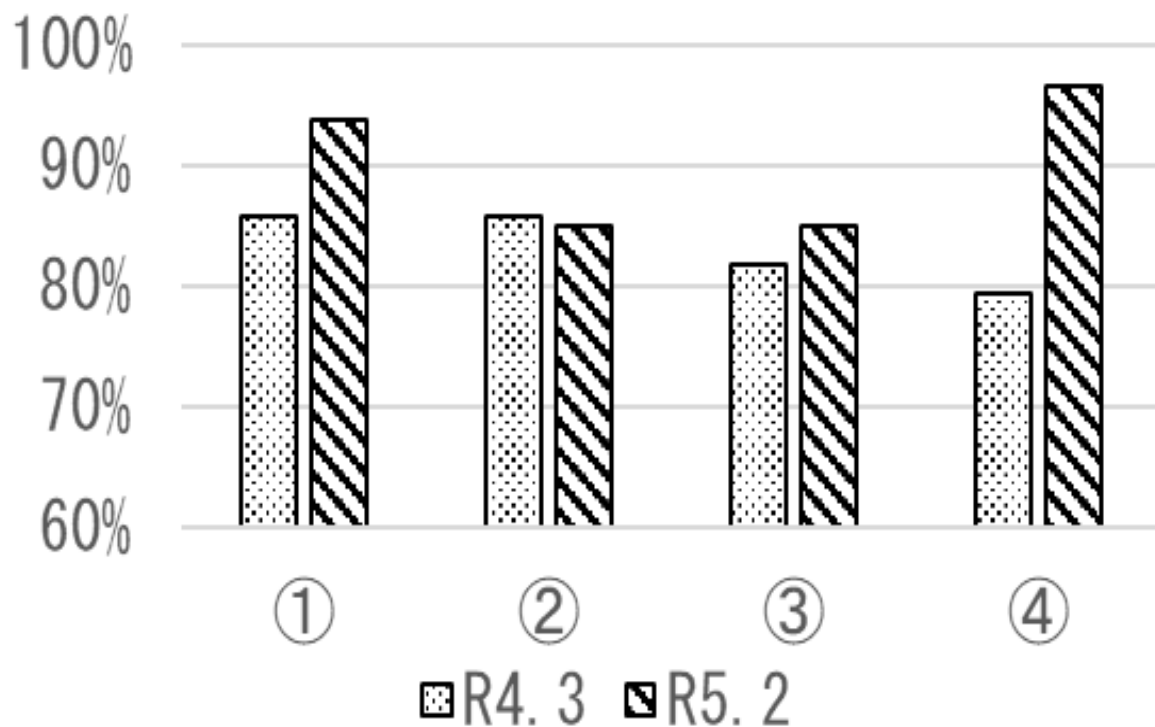
R5年2月 92%

⑤「生活科・総合的な学習の時間」では、自分で
課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを
発表するなどの学習活動に取り組んでいます。
（探究的な学習）

R4年3月 87%

R5年2月 92%

教師アンケート



①児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができます。（主体性）

R4年3月 86%

R5年2月 94%

②児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。（協働性）

R4年3月 86%

R5年2月 85%

③授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れています。（探究的な学習）

R4年3月 82%

R5年2月 85%

④生活科・総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしています。（探究的な学習）

R4年3月 79%

R5年2月 97%

成果

- 児童生徒アンケートでは、「中学校区で共通して育成したい資質・能力」である「主体性・協働性」の向上を見取ることができた。
- ループリックを活用した振り返りの記述にも、主体性・協働性を意識した言葉や、自身の成長や変容を自覚する記述が増えた。
- 教師アンケートでは、探究の過程を意識した指導をしている教師の割合が大きく向上し、授業づくりに対する教師の意識変革を進めることができた。

課題

- 児童生徒アンケート、教師アンケート、どちらにおいても「かかわりを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすること」に関して、数値の向上があまり見られなかった。児童生徒自身が主体性・協働性を発揮したり、その高まりを自覚したりする手立てが不十分だった。

今後に向けて

主体性・協働性が発揮される学習場面の設定

今年度開発した単元を基に、課題の解決に向けて、自分の考えをもち、他者とかがかりながらその考えを更新していく必然性、必要性がある単元づくりを進める。

ループリックを活用した振り返り場面の重点化と教師によるフィードバック

児童生徒が主体性・協働性を自覚することができる、ループリックを活用した振り返りを単元の中で計画的に設定していく。また、教師もループリックを活用した振り返りを正しく見取り、フィードバックしながら単元の改善を進められるようにする。



ご清聴、ありがとうございました。